

IT時事ネタキーワード「これが気になる！」(第105回)

Windows 10のサポート期限に注意。2025年まで使うには？

2022.09.30



以前このコラムで、Internet Explorer(以下「IE」と略)のサポート終了について紹介した。WindowsをはじめとするOS、IEのようなアプリなどのソフトウェアは、セキュリティ向上や使い勝手の向上、不具合修正などのためにバージョンアップを重ねるが、OSやアプリ自体が違うエディションでスタートするなどの理由により、販売など提供が終了してしまうことがある。

サポートは2025年10月14日まで。条件次第で今年で終了の可能性も

これらソフトウェアは基本的に、提供が終了してもしばらくはセキュリティ更新プログラムなどのサポートは行われる。ただし、それも終了してしまうと、使い続けることができなくなる。

最新のWindows 11が約1年前にリリースしているものの、いまだに広く使われているのがWindows 10だ。リリースは2015年、その一般向けのHomeとProのサポート終了は2025年とされる。なるべく使い慣れたWindows 10を使い続けたい、という人も多いだろう。Windows 11のリリース時から行われているWindows 10からWindows 11への無償アップグレードはハードウェアなどの条件が厳しく、アップグレードを諦めてWindows 10を使い続けるしかない場合もある。筆者も4台のWindowsパソコンのうち2台が無償アップグレードの対象から外れ、Windows 10を使い続けざるを得ない現状がある。

しかし、Windows 10でありさえすれば2025年まで使える、と安心していても、条件によっては使えなくなる可能性があるため、注意が必要だ。

利用を続けたい場合は今年12月13日までに「21H2」にアップデート… [続きを読む](#)